

京都文学賞

Kyoto Literature Award

第1回 作品・読者選考委員募集



作 品

京都を題材とする未発表の「小説」を募集(ジャンル不問)

2019年9/30(月)まで

応募区分／「一般部門」「中高生部門」「海外部門」

最優秀賞／賞金100万円、出版化ほか

最終選考委員／いしいしんじ(作家)、原田マハ(作家)、校條剛(文芸評論家)、読者選考委員の代表ほか

読者選考委員

作品の選考に加わる方を一般公募(40名程度)

2019年7/31(水)まで

主催／京都文学賞実行委員会(京都市、京都新聞、一般社団法人京都出版文化協会等)

協力／京都府書店商業組合、文化庁地域文化創生本部、KADOKAWA、河出書房新社、幻冬舎、講談社、集英社、新潮社、PHP研究所、文藝春秋

後援／京都市教育委員会、大学コンソーシアム京都

創設趣旨

平安時代、『源氏物語』や『枕草子』など王朝文学が開花した京都。これまで、川端康成の『古都』や三島由紀夫の『金閣寺』に代表される幾多の名作の舞台となり、多くの作家を輩出するなど、「文学」と非常に縁の深いまちです。

昨年の「世界文化自由都市宣言」40周年を契機に、京都における文学の更なる振興とともに、「文化都市・京都」の発信や京都の歴史と幅広い魅力の再認識、都市格の向上に寄与するため、この度「京都文学賞」を創設しました。本賞では「京都」を題材とする小説を「一般部門」「中高生部門」「海外部門」の3部門で全国から公募し、新人作家の発掘、育成を目指します。

また選考には、京都ゆかりの作家のほか、読者選考委員の方にも参画いただきます。

作品募集要項

募集作品	<ul style="list-style-type: none">●京都を題材とする「小説」とし、純文学、エンターテインメント等のジャンルは問いません。●日本語で書かれた作品に限ります。●未発表の作品に限り、商業出版されたものや他の文学賞を受賞したものは対象外とします。				
応募区分・資格	<ul style="list-style-type: none">●「一般部門」「中高生部門」「海外部門」の3部門を設け、プロ・アマを問わず、全国から作品を募集します。●「一般部門」については、年齢・国籍を問いません（高校生以下の方、外国籍を有する方でも、「一般部門」に応募することができます）。●「海外部門」については、留学生をはじめ外国籍を有する方を対象とします。				
応募規定	<table><tr><td>●一般部門</td><td>28,000字以上160,000字以内 (400字詰原稿用紙換算で、70枚以上400枚以内相当)</td></tr><tr><td>●中高生部門・海外部門</td><td>8,000字以上60,000字以内 (400字詰原稿用紙換算で、20枚以上150枚以内相当)</td></tr></table>	●一般部門	28,000字以上160,000字以内 (400字詰原稿用紙換算で、70枚以上400枚以内相当)	●中高生部門・海外部門	8,000字以上60,000字以内 (400字詰原稿用紙換算で、20枚以上150枚以内相当)
●一般部門	28,000字以上160,000字以内 (400字詰原稿用紙換算で、70枚以上400枚以内相当)				
●中高生部門・海外部門	8,000字以上60,000字以内 (400字詰原稿用紙換算で、20枚以上150枚以内相当)				
応募方法	<ul style="list-style-type: none">●応募方法は応募フォーム (https://www.koubo.co.jp/kyoto/) 又は郵送のいずれかとします。●パソコン原稿の場合は、A4判横長のマス目のない用紙に30字×40行の縦書きで印字してください（手書き原稿は不可とします）。●郵送の場合は、1枚目に応募用紙、2枚目に作品のあらすじ（800字以内）を付けてください。 ※様式は、専用サイトからダウンロードできます。 ※あらすじの前に、応募区分、題名、筆者名を記入してください。				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p>◎応募用紙に記載する必要事項</p><ul style="list-style-type: none">①題名 ②本名(ふりがな)、筆者名(ふりがな)③応募区分 ※「中高生部門」は学年、「海外部門」は国籍を明記してください。④作品のジャンル(純文学、ミステリー・ホラー、SF・ファンタジー、歴史・時代、青春・恋愛、その他) ⑤作品の総文字数 ⑥住所 ⑦電話番号⑧Eメールアドレス ⑨略歴(学歴、職歴、筆歴など)◎以下、任意項目⑩生年月日(西暦で記載) ⑪性別 ⑫職業 ⑬京都文学賞を知った方法</div>				
	<ul style="list-style-type: none">●作品本文ページの左下に通し番号(ページ番号)を入れ、郵送の場合は右肩をクリップ又は紐で綴じてください(ホッチキス留めは不可)。				
応募締切	2019年9月30日(月) 消印有効 ※応募フォームでの応募の場合は30日23:59まで有効。				
最終選考委員	いしい しんじ(作家)、原田 マハ(作家)、校條 剛(文芸評論家)、 読者選考委員の代表、主催者の代表				

賞 の 内 容	<p>〈一般部門〉 最優秀賞1点：賞金100万円、出版化 優秀賞（又は選考委員特別賞）1点：賞金50万円</p> <p>〈中高生部門〉 最優秀賞1点：図書カード10万円分 優秀賞1点：図書カード5万円分</p> <p>〈海外部門〉 最優秀賞1点：賞金10万円</p>
発 表	<p>〈一次選考〉 2019年11月下旬頃に、選考結果を専用サイト上にて発表します。</p> <p>〈二次選考〉 2020年1月上旬頃に、選考結果及び簡易な選評を専用サイト上にて発表します。</p> <p>〈最終選考〉 2020年2月頃に、受賞者へ直接通知するほか、選考結果及び選評を専用サイト等で発表します。</p>
表彰式・交流会	<p>2020年3月（予定）</p> <p>京都市内の会場にて、受賞者のほか、選考委員や出版社等を招いて実施します。</p>
注 意 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ●応募は一人一編とします。 ●他の文学賞へ応募し、結果が判明していない作品の投稿は受け付けません（二重投稿の禁止）。 ●応募後の作品の訂正、返却依頼は受け付けません。必要であれば予めコピーしておいてください。 ●作品の選考に関するお問い合わせには応じられません。 ●受賞作品の出版権は、京都文学賞実行委員会事務局及び協力出版社と協議のうえ、決定するものとします。 ●応募により得た個人情報については、本文学賞に関するもの以外には使用しません。

■最終選考委員から



いしい しんじ

京都は昔から、物語でできているような、まちが人を通して、言葉を語って、自らを表してきたところがあります。新しい方が、令和元年にふさわしい京都をどのように語ってくださるのか楽しみでなりません。素晴らしい作品の投稿と受賞を心から待ち望んでいます。

◎1966年大阪市生まれ。京都大学文学部仏文学科卒。1994年『アムステルダムの犬』でデビュー。2003年『麦ふみクーツェ』で坪田譲治文学賞、2012年『ある一日』で織田作之助賞、2016年『悪声』で河合隼雄物語賞を受賞。



原田 マハ

古くから芸術・文化を育んできた京都に、このたび新たに文学賞が創設されました。歴史の重みと現代の軽やかさが同居する京都には、数えきれないほどたくさんの物語の種が眠っています。その種が芽吹き、花を咲かせるために、この文学賞がよき機会となることを期待しています。

◎1962年東京都生まれ。関西学院大学文学部日本文学科及び早稲田大学第二文学部美術史科卒。2005年『カフーを待ちわびて』で日本ラブストーリー大賞を受賞しデビュー。2012年『楽園のカンヴァス』で山本周五郎賞を受賞。2018年京都を舞台とした小説『異邦人』で第6回京都本大賞を受賞。



校條 剛

この新人賞は読者である「あなた」が選ぶ文学賞です。読者代表として参加して「自分たちが読みたい」小説を選ぶことができるのです。小説原稿の募集のほかに、読者代表として選考委員を務めたい方々も募集します。一緒に「京都文学賞」を盛り上げていきませんか。

◎1950年東京都生まれ。1973年早稲田大学第一文学部フランス文学科卒業後、新潮社入社。元「小説新潮」編集長。「日本推理サスペンス大賞」「小説新潮長編新人賞」など複数の新たな文学賞の創設を主導。2019年3月まで京都造形芸術大学教授を務める。著書に『ザ・流行作家』、『作家という病』など。

読者選考委員募集要項

役割	●京都文学賞の各部門(一般／中高生／海外)における一次選考通過作品について、審査基準に沿って選考し、感想を記述していただきます(=二次選考)。 ※一次選考は、書評家など専門家により実施します。
選考時期及び選考作品数	●二次選考(2019年11月下旬～12月頃) 1人10～15点程度(全読者選考委員が担当) ※担当する作品数は、応募状況により変動する可能性があります。 ●最終選考(候補作品送付:2020年1月頃 選考会:2020年2月頃) 各部門から数点
募集人員	40名程度 ※本文学賞に作品を応募される方は、読者選考委員には応募できません。
謝礼	40,000字までにつき500円分の図書カード(1作品上限2,000円) ※最終選考会に出席いただく場合は、別途謝礼をお支払いします。
特典	①2020年3月頃に京都市内で開催する表彰式・交流会へ御招待(交通費は自己負担) ②受賞作の刊行本プレゼント(予定)
応募方法	以下の事項を記載し、郵送で下欄応募先へ提出してください。 ※様式は、専用サイトからダウンロードできます。 ①選考を希望する部門(一般／中高生／海外) [複数選択可。希望順に記載。] ②京都との関わり ③読書歴(1箇月に何冊程度本を読むか)・筆歴(ある方のみ) ④好きな小説のジャンル(純文学、ミステリー・ホラー、SF・ファンタジー、歴史・時代、青春・恋愛、その他 ※複数選択をお願いします。)及び好きな作品ベスト5(作品名・作者名) ⑤『檸檬』(梶井基次郎著)を読んでの感想(400字程度) ⑥応募理由を含む自己アピール(200～400字程度) ⑦住所・名前・年齢・職業・電話番号・Eメールアドレス
応募締切	2019年7月31日(水) 消印有効
結果通知	2019年10月上旬頃までに本人に通知します。 ※2019年10～11月頃に、作品の選考に関する説明会を開催しますので御出席ください。
備考	応募者の選考は、京都文学賞実行委員会が行います。

作品・読者選考委員の応募先

- ◎作品応募フォーム：<https://www.koubo.co.jp/kyoto/>
◎郵送先：〒604-8567(住所不要) 京都新聞COM内 京都文学賞実行委員会事務局
「作品募集」係 又は「読者選考委員」係



京都文学賞 検索

問い合わせ先

京都文学賞実行委員会事務局(京都新聞COM営業局内)
TEL: 075-241-5840(平日午前10時～午後5時) FAX: 075-222-2200
メール: keikaku@mb.kyoto-np.co.jp

